ONKYO®

スピーカーシステム

D-M3

取扱説明書

オーディオ機器の正しい使いかた	2
お手入れについて	5
コルクスペーサー・壁掛け金具を使う	6
接続のしかた	7
主な仕様	9
修理について	10
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内	11

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

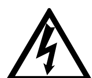


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

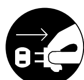
絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。





●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない


電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない


分解禁止

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

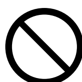

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意



- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜きスピーカーコードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない



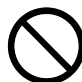
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意



- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ



- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを利用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

お手入れについて

■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■ カラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。



テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でオーディオ機器の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

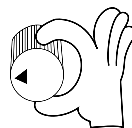
■ 取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど､接続端子の抜き差し時のショック音

♪音のエチケット

楽しい映画や音楽も､時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。お互いに心を配り､快い生活環境を守りましょう。



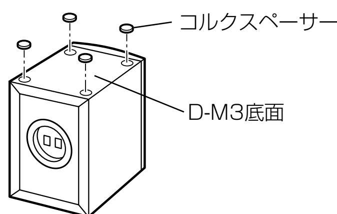
D-M3(01-12)(SN 29343428A) 5 02.9.12, 11:00 AM
ブラック

コルクスペーサー・壁掛け金具を使う

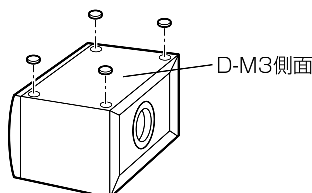
スピーカー用コルクスペーサー

よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

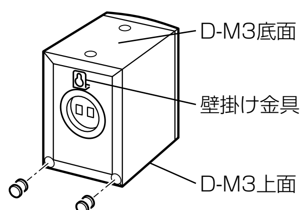
たて置きの場合



横置きの場合



壁に掛けて使用する場合



スピーカーの上下を逆にして使用します。スペーサーは2枚重ねて2ヶ所に貼ってください。また、バッジは回転しますので上下逆にすることができます。

金具の取り付けかた

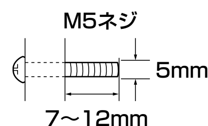
付属のネジを使って金具を背面に取り付けます。



壁に取り付ける場合、壁の強度に充分注意してください。材質、桟(さん)の位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ます。ネジは頭の直径が10mm以下、ネジ部の直径が4mm以下で、できるだけ太く長いものをご使用ください。(業者の方にご相談いただくのが安心です。)

市販のスタンドや金具を使用する場合

スピーカーの背面にはM5用ネジ穴1個、底面にはピッチ60mmでM5用ネジ穴を2個設けています。底面を固定する場合は、市販のスタンドや金具を使用してください。
スタンドや金具をご使用になるときは、スタンドの厚みを考慮して有効ネジ長が7～12mmのものをご使用ください。



接続のしかた ①

■ スピーカーの接続のしかた

D-M3を2つ使用する場合は　　左右フロントスピーカーとして（ステレオ再生）
D-M3を3つ使用する場合は　　左右フロントスピーカー、センタースピーカーとして（3.1ch再生）
D-M3を4つ使用する場合は　　左右フロントスピーカー、サラウンドスピーカーとして（4.1ch再生）
D-M3を5つ使用する場合は　　左右フロントスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーとして（5.1ch再生）お楽しみいただけます。

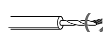
■ スピーカーを接続する前に

付属のスピーカーコードの準備をします。

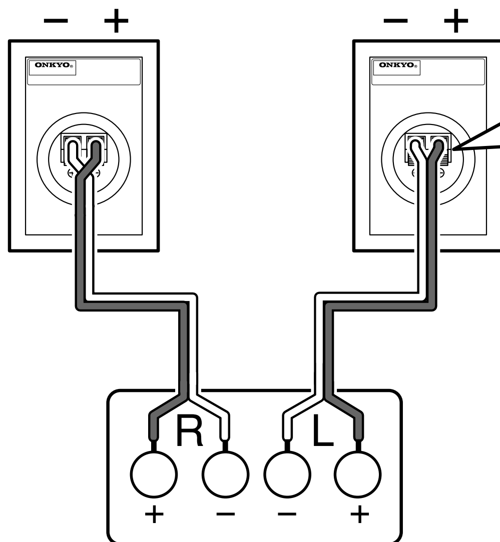
①スピーカーコードのビニールカバーの先を外します。



②しん線をよじります。

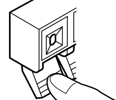


例）

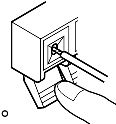


スピーカー端子への接続方法

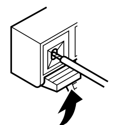
①レバーを押します。



②しん線を穴の中に入れます。



③レバーをはなします。



- スピーカーのプラス（＋）とアンプのプラス（＋）に白いラインの入ったスピーカーコードの先端を接続します。スピーカーのマイナス（－）とアンプのマイナス（－）に色の入っていないスピーカーコードを接続します。
- 付属のスピーカーコード用ラベルをスピーカーコードの両端に貼ると、間違えずに接続することができます。
- スピーカーコードの＋/－、L（左）R（右）を間違えないように接続してください。間違えると音声が不自然になりますのでご注意ください。
- アンプの故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対に接触させないでください。

接続のしかた ②

本機はオンキヨー製BASE-DR7のセンター、サラウンドスピーカーとしてお使いいただけます。

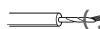
■ スピーカーを接続する前に

付属のスピーカーコードの準備をします。

①スピーカーコードのビニールカバーの先を外します。



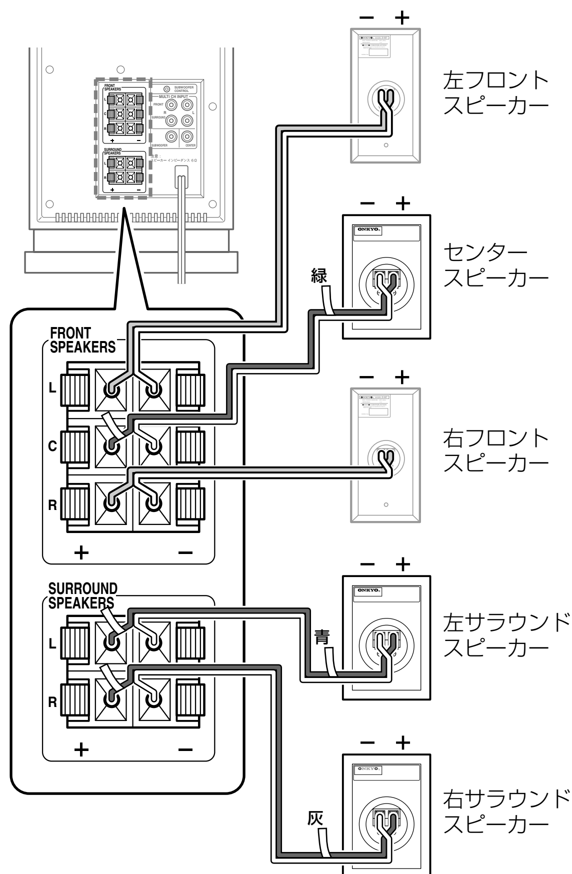
②しん線をよじります。



■ スピーカーの接続

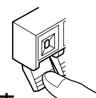
本機はセンター、左右サラウンドスピーカーのいずれにも接続できます。

オンキヨー製5.1chアンプ内蔵サブウーファーとの接続例

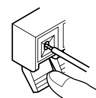


スピーカー端子への接続方法

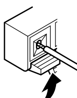
①レバーを押します。



②しん線を穴の中に入れます。

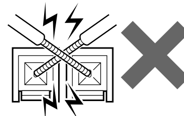


③レバーをはなします。



危険

回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対に接触させないでください。



- スピーカーのプラス(+)とサブウーファーのプラス(+)に白いラインの入ったスピーカーコードの先端を接続します。スピーカーのマイナス(–)とサブウーファーのマイナス(–)に色の入っていないスピーカーコードを接続します。
- プラス(+)とマイナス(–)を間違って接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。
- 付属のスピーカーコード用ラベルをアンプの端子の色に合わせてスピーカーコードの両端に貼ると、間違えずに接続することができます。

主な仕様

形式：	フルレンジ密閉型
定格インピーダンス：	6Ω
最大入力：	40W
定格感度レベル：	80dB/W/m
定格周波数範囲：	100Hz～25kHz
キャビネット内容積：	0.6ℓ
付属品：	スピーカーコード　8m×1
	コルクスペーサー　×4
	壁掛け金具　×1
	壁掛けネジ　×1
	スピーカーコード用ラベル　×1
使用スピーカー：	8cmOMFコーン
外形寸法：	85（W）×120（H）×112（D）mm
質量：	0.6kg
その他：	防磁設計（EIAJ）

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　D-M3
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30〜17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口　修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

栃木・群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・茨城地区
千葉サービスステーション
TEL 043-296-3915　FAX 043-296-3912
〒262-0033　千葉市花見川区幕張本郷5-2-11

東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13　共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-7091
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2002年6月現在　お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

H

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540



http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343428A

G0208-2